

第4回施設系混雑WG アジェンダ

○令和3年2月4日（木） 18時00分～19時00分 WEB開催

- 1. 第3回WGアンケートの報告（前回振り返り）**
- 2. 発展的な混雑データの利活用にかかる具体的活動**
 - （1）混雑情報の価値を上げるための検討・実証の場の提供
（R3戦略本部事業にかかる解説含む）
 - （2）混雑情報の流通促進活動
- 3. 本年度実施したデータ利活用事業の活動報告**
- 4. 1st Step の活動報告（サービスローンチの報告と今後の活動）**
- 5. 今後の予定**

第3回混雑WGアンケートの報告（前回振り返り）

アンケートの結果も踏まえ、今後のWGのテーマを検討

「議論に積極的に参加したい」の回答数

寄せられた主なコメント

	「議論に積極的に参加したい」の回答数	寄せられた主なコメント
シーン別	交通関連 10社	• エリア・交通の混雑状況と連携し、安心できる移動、行動変容を実現したい
	店舗関連 9社	• クーポン配信と混雑データを合わせて応用
	エリア関連 8社 ∴（防災、観光・イベント、オフィス・不動産、等）	• 対象地域全体の把握が、今後の地域運営で重要
シーン横断	インセンティブ設計 7社	• データ提供側のインセンティブ設計が重要
	運用ガイドライン設計 7社	• 持続可能な取組にするために、提供者・利用者双方が使いやすいガイドラインが必要

個別分野に飛び地展開より、まずは既存分野の深掘りや面を広げる方向性が

インセンティブ設計、運用ガイドライン設計の関心の高さを確認

今後の混雑WGの活動 全体像

活動① 混雑情報の 利用価値向上活動



活動①-1

混雑情報と他のデータの掛け合わせ

活動①-2

混雑情報のニーズ吸い上げ・利用者開拓

活動② 混雑情報の 流通促進活動



活動②-1

混雑情報の一覧化

活動②-2

混雑情報の流通最大化のためのルール整備

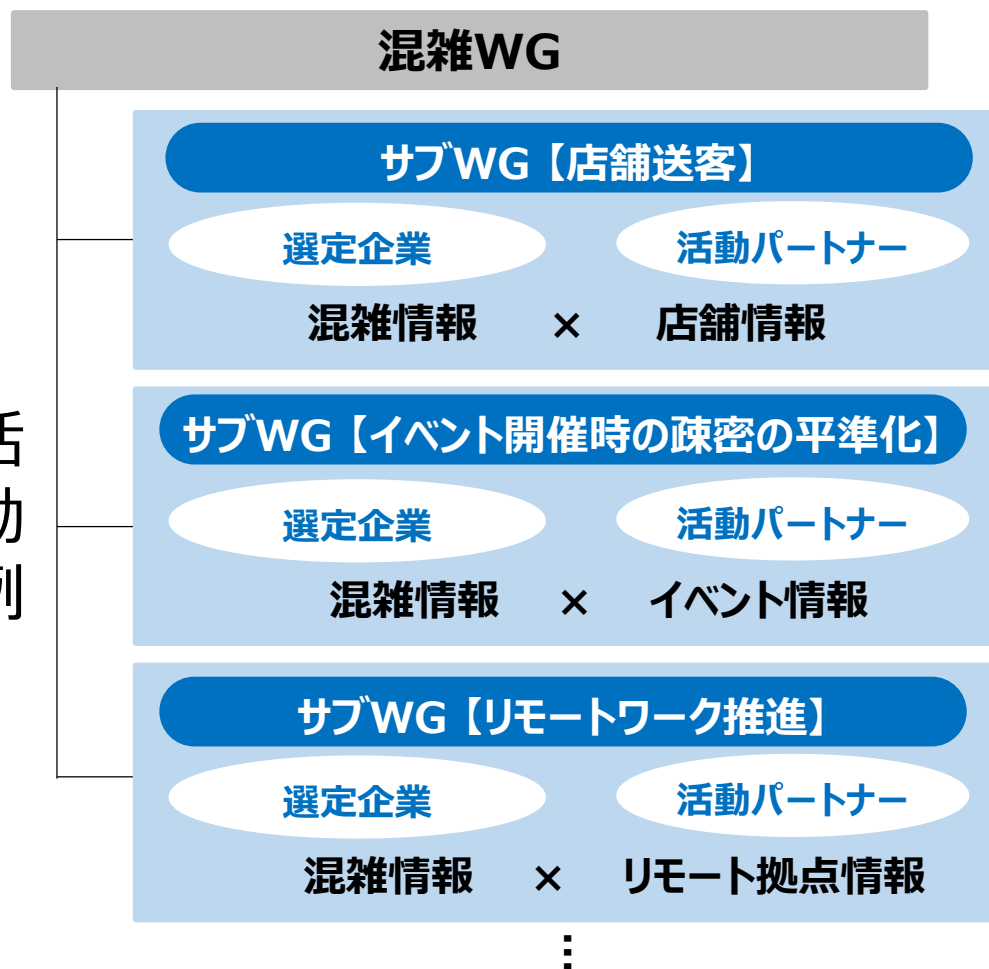
【混雑WG活動①-1】混雑情報と他のデータの掛け合わせ

混雑データと混雑データ以外を掛け合わせて、新たな利用価値創出にチャレンジ

活動の流れ

- 1
 - 題材にする混雑情報の提供企業の公募※1
 - テーマ設定について選定企業と討議
- 2
 - 掛け合わせアイデア（活動パートナー企業）の募集
- 3
 - サブワーキンググループとして活動
- 4
 - 令和3年度予算計画のケーススタディ事業との連動（次頁詳述）

活動例



(※1) 4月以降の包括連携協定企業として公募。協定名および協定内容は一部変更を予定

令和3年度ケーススタディ事業について

目的

- DPF利用候補者がデータ利活用の成功体験を得ることで、DPF利活用意欲の醸成
- DPF顧客集客および利用促進活動に利用する利活用事例（ケーススタディ）の創出・蓄積

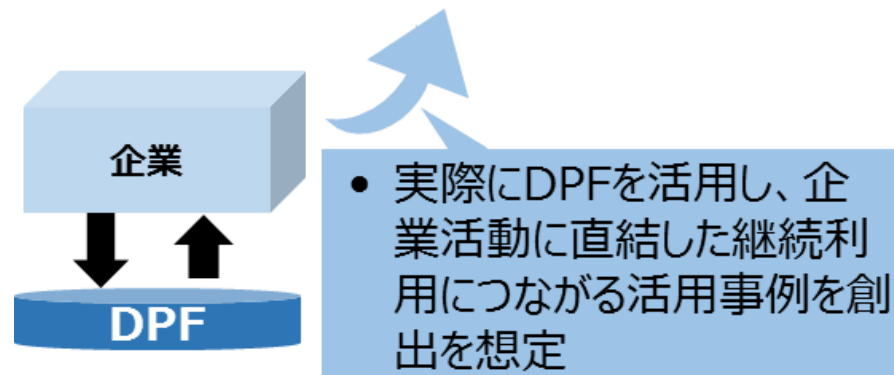
事業内容

① DPFの継続利用に繋がるケーススタディ作成を、計3件公募

- 1) 先行実証事業から適当とされたユースケース/混雑情報関連
- 2) シーズ・プッシュ型ユースケース/庁内データもしくはオープンデータ利用案件
- 3) ニーズ・プル型ユースケース/DPFの参加者のニーズを元にした案件

② 得られたケーススタディを利活用事例として、積極的に広報

継続的利用案件の積み上げ



実施内容

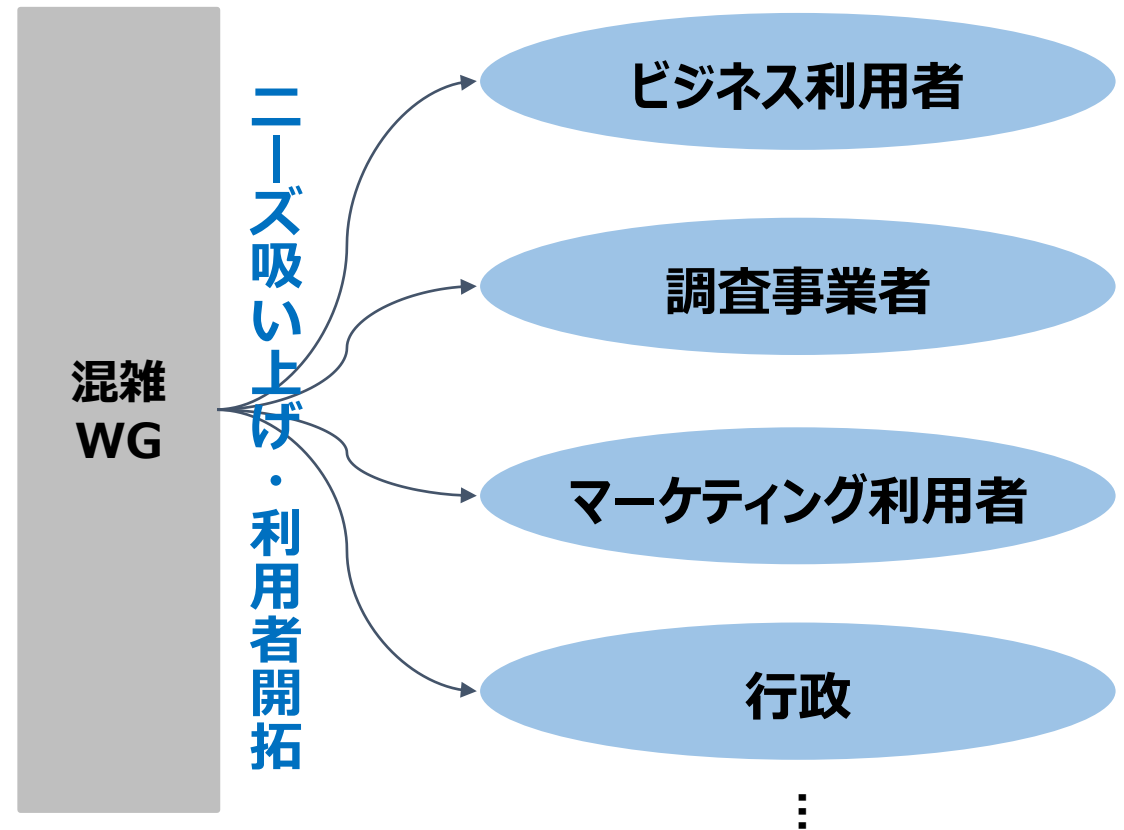
	Step1 公募・選定（4~6月）	Step2 プロジェクト実施（7~翌2月）	Step3 評価（翌3月）	
① 事例創出	<ul style="list-style-type: none">• テーマ設定• 公募・選定	<ul style="list-style-type: none">• 各プロジェクトの実施• 進捗状況の開示	<ul style="list-style-type: none">• 成果発表会の実施	<ul style="list-style-type: none">• 活用事例の分析• アウトプット資料作成
② 事例広報	<ul style="list-style-type: none">• 特設HP等で広報展開（実施状況等を掲載）• 関心の高い事業者へ適切に周知• DPF事業への参加意欲を高める企画実施（ミニイベント等）	<ul style="list-style-type: none">• 成果発表会の様子を動画で撮影・公開	<ul style="list-style-type: none">• アウトプット資料を公開• 事業者等に広報	

【混雑WG活動①-2】ニーズ吸い上げ・利用者開拓

①-1の活動がより大きな価値を生むよう、混雑情報の利用者拡大をはかる

今後の活動予定

- 当WGの積極的なPRの実施
- 都の中立的な立場を活用して、新たなデータ利用者ニーズの発掘（利用者の積極参加へ）



【混雑WG活動②-1,2】混雑情報の流通促進活動

現在存在する混雑情報の全容を把握し、ルール整備へ繋げる

活動名

今後の活動予定

活動②
混雑情報の
流通促進活動



活動②-1
混雑情報の
一覧化

活動②-2
混雑情報の流通
最大化のための
ルール整備

- 混雑情報保有各社へのアンケート実施
- 混雑状況の現状が把握できる混雑情報の一覧の作成（3月末まで）
- 混雑情報の利用者拡大を狙ったWG成果物の積極的PR

- 活動②-1の後、本格活動

データ利活用実証事業の活動報告①

オフィスの疎密可視化・接触履歴による感染症抑制とビル・エリアスケールとの相関モデル構築

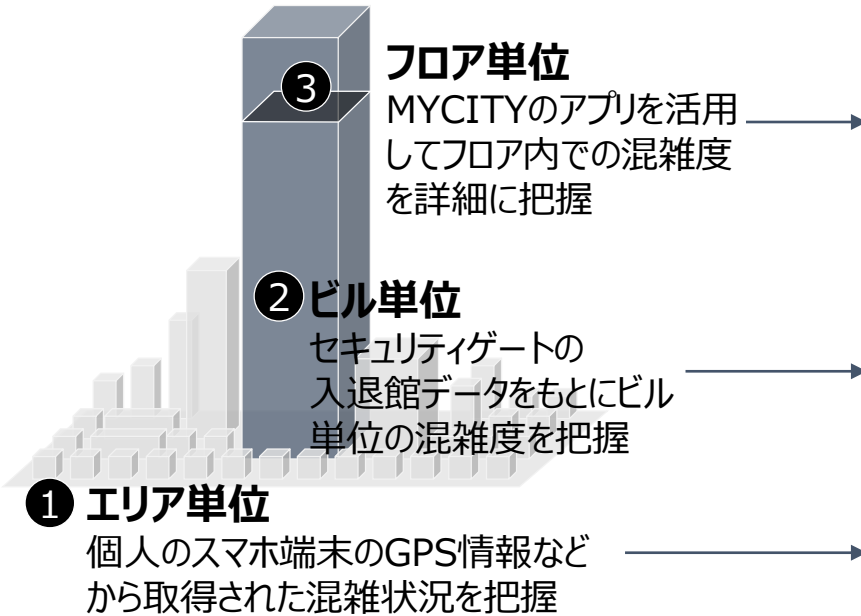
【目的】

- ✓ 対象エリアにあるオフィス利用者の感染拡大防止のため、エリア・ビル・フロアにおける混雑の見える化及び混雑要因の分析を行い、密・接触回避の各種施策を検討し、混雑抑制を促す行動変容につなげる
- ✓ With・Afterコロナにおける、新しいオフィス利用や働き方の在り方の検討につなげる

テーマ
3密回避

実施エリア
西新宿・六本木・渋谷

プロジェクト実施者
(株)MYCITY (プロジェクト代表者)、野村不動産(株)、森ビル(株)、東急不動産(株)

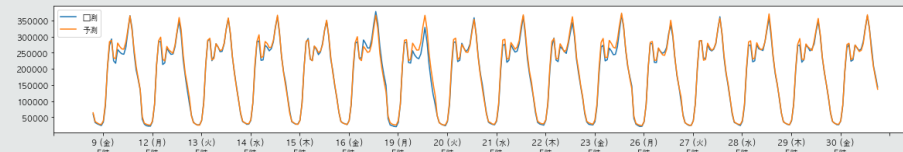


データの可視化・ツール活用

- 実証に協力したデベロッパー3社の従業員各200~300人を対象としてMYCITYのアプリを提供し、個人の位置情報やフロアの混雑状況を提供・発信

重回帰分析*を用いた予測モデル化

- エリア・ビルについては誤差3~5%程度のモデルを構築
(渋谷エリアの時間別滞在人数推移に関する理論値・実績値)



*重回帰分析：ある変数が他の複数の変数とどのような相関関係にあるのかを推定する統計学的手法
(複数の要因が結果にどのように決定づけているのかを分析する手法)

事業の成果と今後への期待

主要な 成果

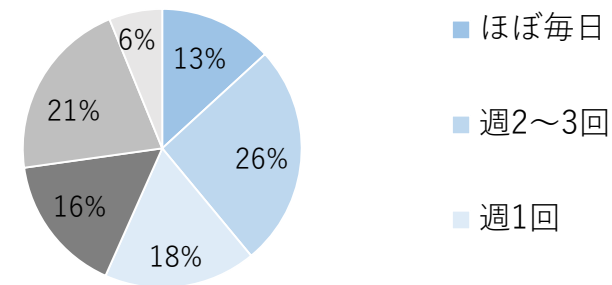
エリア・ビル・フロアの混雑推計モデルを作成

- エリアやビル単位での混雑状況は、**1週間前と前日の同時間帯の混雑状況をもとに高い精度で推計**可能であることを確認
- 実証3エリアで、エリア間の日・時間別推移に強い正の相関（相関係数0.9以上）があり、**あるエリアの混雑から、他エリアの混雑状況を推定**しうる
- フロアでの混雑状況はランダム性が高く、推計よりも**リアルタイムでの状況把握が必要**になることを確認

フロアの混雑状況等の発信に対するユーザーの関心度を確認

- 実証に参加したユーザーの関心度も非常に高く、**約6割のユーザーが恒常的にアプリを活用**。うち、1割程度のユーザーにおいて行動変容が確認された*

どの程度の頻度でアプリを操作したか



実証を 踏まえて

- ✓ 【発展性】実証を通じて、様々な主体が既に保持するエリア滞在人数や施設の在館人数情報を活用することで、エリア・ビルにおける混雑の予測も含めた情報発信が十分見込める
 - 各主体からのデータ提供（個人情報削除含む）に向けた、**ガイドラインや運用ルール等の策定を官主導で実施**する意義があるのではないか

1st Stepの活動報告（サービスローンチ）

2021年1月8日～ サービス開始 同日、小池知事定例記者会見にて発表

サービス
スキーム

ロコガイド

混雑データを提供

NTTレゾナント

- 実際の混雑情報を3段階で表示
- 都内約4千店の情報
(スーパーやドラッグストアなど)

都民



サービス
イメージ



今後のスケジュール（次年度にかけての予定）

- **題材にする混雑情報の提供企業の公募**
 - 選定企業とテーマ設定相談
 - 新たなデータ利用者ニーズの発掘・混雑情報の一覧化を並行して実施
- **掛け合わせアイデア（活動パートナー企業）の募集**
- **混雑情報一覧の報告**
 - 第5回混雑ワーキングにて実施予定